

● バイオサイエンス学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、基礎から最先端の生命科学の知識と技術を習得し、生命現象を本質的に理解し、生命科学を利用して社会貢献できる人材及び研究や開発等生命科学領域で幅広く活躍するための礎となる深い洞察力と問題解決能力を身につけた個性豊かな人材を養成する。

2. 教育目標

バイオサイエンス学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 生命科学分野における専門知識と技術を修得し、それらを活かして社会に貢献する能力を有する者。
- (2) 修得した知識や成果を適確に伝えるプレゼンテーション・コミュニケーション能力を有する者。
- (3) 論理的思考能力と問題設定・解決能力を有する者。

3. アドミッションポリシー

バイオサイエンス学科では、まず生命科学に強い興味を持ち、さらに環境問題・健康などにも興味を持つことにより、グローバルな視点でこれらの問題解決にチャレンジする意欲的な人を求めている。

- (1) 生命科学に関する知識を学習・理解し、それを応用することができる人。
- (2) 幅広い視野から問題意識を持ち、論理的に考えることができる人。
- (3) 生命科学をベースに資源・環境・健康等に強い関心を持ち、それらの問題解決に意欲的に取り組むことができる人。
- (4) 正しい技術を身に付け、自分の知識や考え方を適確に表現し伝えることができる人。

4. カリキュラムポリシー

バイオサイエンス学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 広範な分野での基礎的知識と基本的な学習能力を獲得するため、また専門科目を意識させ専門を学ぶ重要性を理解するための科目。
- (2) 生命科学分野で必要とされる専門知識を修得するための科目。
- (3) 演習、実験、実習を通して実践的専門知識及び技術を修得するための科目。
- (4) 専門知識を活用し、課題設定・解決する能力、表現能力、コミュニケーション能力などを育成するための科目。
- (5) 国際化に対応できる実践的な語学力を修得するための科目。

5. ディプロマポリシー

バイオサイエンス学科は生命科学分野を基本とする本学科の特性により編成された演習、実験及び実習を含めた専門教育による専門的知識と、その知識の活用力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現力、コミュニケーション力などの能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) 生命科学分野に関する専門知識や技術を修得している。
- (2) 生命科学分野における諸問題を論理的に説明し、解決策を見出す能力を修得している。
- (3) 生命科学に関する専門知識を実社会に還元してその発展に寄与することを目指し、協調性と高い倫理性を持って、自律的・継続的に行動する能力を修得している。
- (4) 自分の考えを適確かつ効果的に伝えるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。